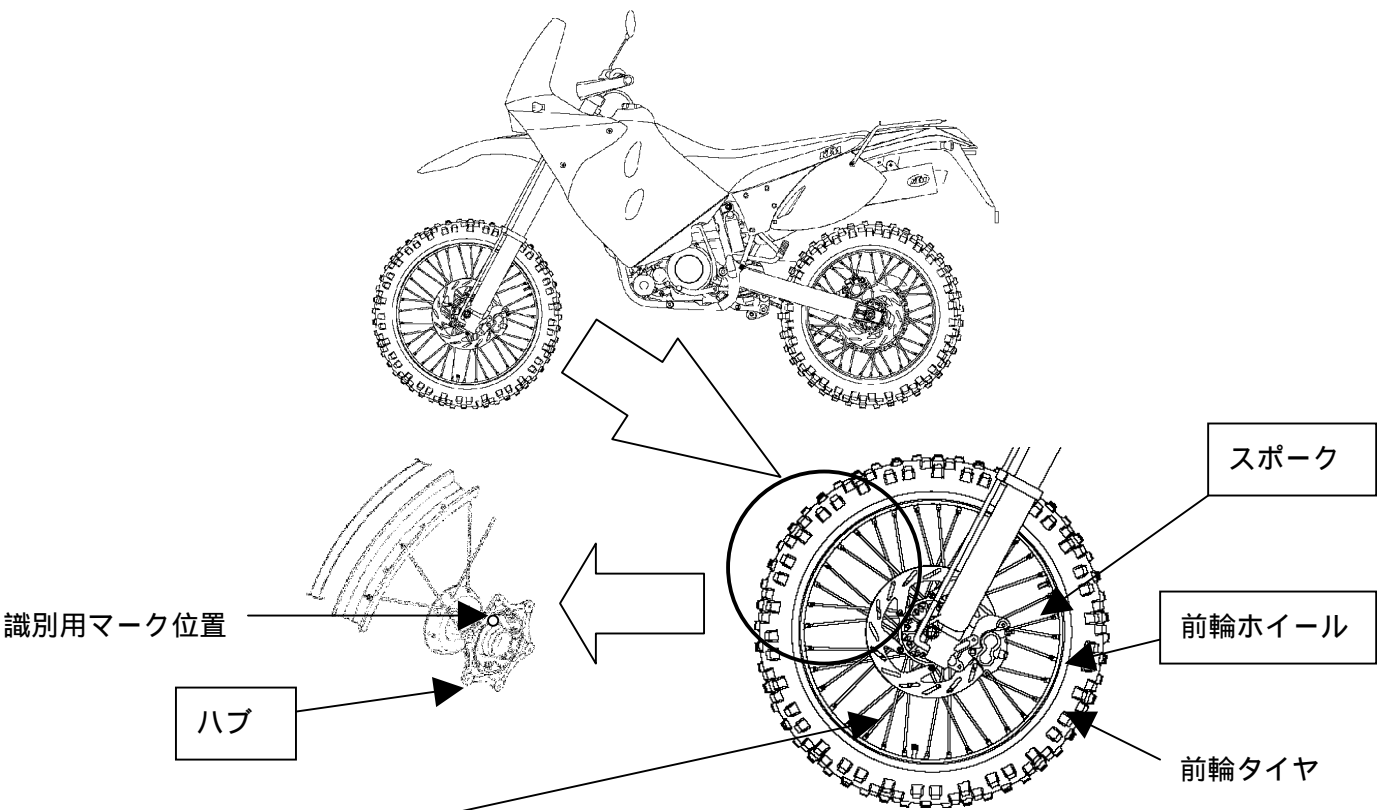


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

前輪ホイールのハブの強度及び捻れ剛性が不足しているため、走行時の高いブレーキ操作を繰り返し行くとハブが変形しスポーク部に応力が集中して折損することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると最悪の場合、折損したスポークがタイヤチューブを損傷させ、前輪タイヤがパンクし走行不能となるおそれがある。

改善の内容： 全車両、対策のホイールに交換する。

注： は交換部品を示す。

改善前	改善後

交換識別の方法：作業完了後、ハブ左側面に赤色のペイントマークを塗布する。